

少し寄り道

東北・秋田への旅 ～ つづき ～

3日目は7時から朝食との情報を得て、5時起床で十和田湖・奥入瀬渓流を早朝アタック。雨の中、要所に車を止めながら銚子大滝、阿修羅の流れ、雲井の滝などを見学。2度目の訪問で、楽に鑑賞できました。ホテルに戻り朝食を取って今度は、一路八幡平(はちまんだい)へ。ビジターセンターで泥火山の説明を受け、大沼湿原を一周、その後頂上を目指してアスピーテラインをドライブ。八幡平山頂散策路でガマ沼、メガネ沼を見つつ、まだ残る雪にビックリ。夜は多くの患者様から勧められた乳頭温泉に宿泊予定。しかし、その前に、癌患者さんなどが訪れる有名な「玉川温泉」入浴を事務長が熱望。強い酸性湯の立ち上がる古い玉川温泉は見学だけにして、事務長は新玉川温泉の源泉100%にダイブ。酸性度が強く、皮膚がピリピリしてすぐに出たそうです。そろそろ少なくなってきたガソリンを心配しながら、給油所がある田沢湖まで降りて給油。ほっと一息、そして湖を一周ドライブ。瑠璃色とも表現されますが、碧と群青の間のような何ともいえない湖面の色に感動。これは写真やビデオでは表現が難しいと思います。深さ日本一だけではない。田沢湖侮るべからず！！乳頭温泉ではゆっくりと白いお湯につかり、翌日の行程を相談。秋田行きの飛行機から見た鳥海山の全容を見たいとドライブも計画。



水深日本一の田沢湖。湖面の美しさに感動しました。

4日目は再度、田沢湖を眺め、ミシュランガイドに紹介された、「抱返り溪谷」へ。1時間ほど美しい溪谷と回顧の滝を散策。次いで、メインイベントである角館(かくのだて)へ。武家屋敷が美しく残る町並みを鑑賞しつつ、石黒家などを見学。ゆったりとした造りで情緒に富む。しかし、最近江戸時代の城下町保存は各地方にあるので、もう一工夫が必要か？その後、日本海東北自動車道を南下し、象潟(きさかた)九十九島(文化元年の大地震で海底が隆起し、現在は陸上にあり)の異形を見学しつつ、鉾立(ほこだて)展望台を目指して、鳥海ブルーラインをドライブ。中腹に至ると秋田湾の美しい海岸線と遠くに男鹿半島、寒風山が見られる絶景が。戻りには

鳥海山の雪解け水が大量に噴出する「元滝伏流水」を見て、美しさに感激。欲を出して近くの獅子ヶ鼻湿原を見学しようと企画しましたが、時間切れで断念(熊が出るため15時以降の入山は禁止)。

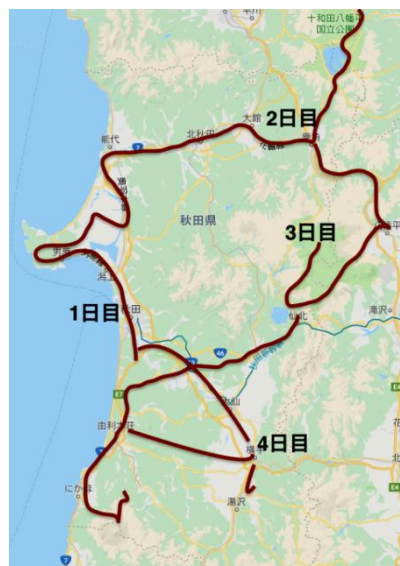


今夜の宿泊の横手市にすずごと移動。18時過ぎに到着すると、ホテルフロントから全館冷房が故障したと連絡が。旅のトラブルは記念に残るし、ここは東北問題ないよと了承。しかし夕食は我々2名だけとのこと。温泉で汗を流して、ビールとともに会席料理を頂きましたが、2人だけのために厨房の暑い中おいしい料理を調理してくれた方、給仕の方に感謝しました。超VIP気分でした。

5日目は帰省ですが、やはり朝は私たち2人だけのために、朝食バイキングが用意されておりました。様々な地元食が提供されておりましたので申し訳なく思い、少し多めに朝から食事をしました。その後、横手の南に位置する商家の町並みを持つ増田を探索し、平安時代の後三年合戦跡を確認しつつ移動。最後に六郷湧水群を見学して秋田空港から帰国の途につきました。

お読みになった方は分かるように充実した秋田旅行でした。簡単に行ける場所ではないため欲張りでしたが、デミオも頑張ってくれました。

来年は北海道か、岩手かな？ご期待を。



旅の軌跡
4泊5日・秋田制覇